

犯罪が移植される

アンソニー賞、マカヴィティ賞、フランス推理小説大賞の三賞に輝く

全米110万部突破の
サイコ・サスペンス 完全映画化

クリント・イーストウッド

ブラッド・ワーク



BLOOD
WORK

ワーナー・ブラザーズ映画提供、マルバノプロダクション制作 クリント・イーストウッド「BLOOD WORK」シェフ・ダニエルズ ワンダ・デジーガス ティナ・リフォード ホール・ロドリゲス ティラン・ウォルシュ
アンジェリカ・ヒューストン 編集ジョエル・コックス 美術ヘンリー・バムステッド 撮影トム・スターン 音楽レニー・ニーハウス 共同制作ジェディー・G・ホイト
製作総指揮ロバート・ローレンツ マイケル・コナリーの小説に基づく 脚本ブライアン・ヘルゲランド 制作/監督クリント・イーストウッド

クリント・イーストウッド
監督デビュー30周年
記念作品

www.warnerbros.co.jp AOLキーワード: ブラッド・ワーク 原作「わが心臓の痛み」(上・下巻) 扶桑社ミステリー文庫刊

「心臓だけなら生かしてやる」

きっとそう言いながら殺したのだろう

脳死の状態で発見された二つの死体

犯人は最近、巷を騒がせている**コード・キラー**（暗号のキラー）だ

二年前、奴の追跡中に俺の心臓が壊れた時、

プロファイラーの仕事とは縁を切ったはずだった

だが被害者の姉の言葉が俺をこの世界に引き戻す

「あなたが今生きているのは妹のおかげ。」

あなたの**その心臓**は妹の心臓なの」

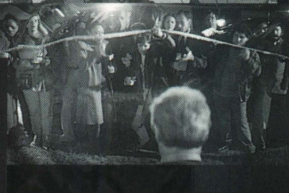
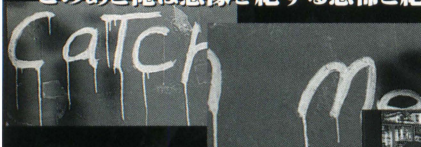
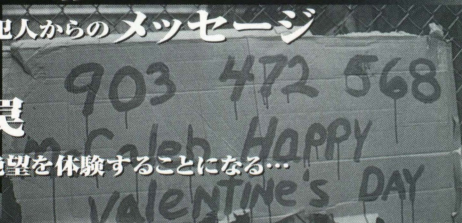
あるとき未解決に終わった**事件の影**が、俺の頭から離れない

現場に残された血のりて書かれた犯人からの**メッセージ**

あれは一体何を意味するのか？

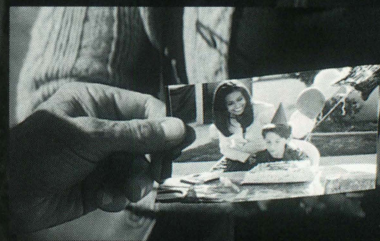
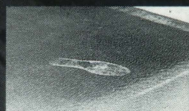
次第に明らかになる**卑劣な罠**

このあと俺は想像を絶する恐怖と絶望を体験することになる...



アンソニー賞、マカヴィティ賞、フランス推理小説大賞の三賞に輝く
全米110万部突破の傑作サイコ・サスペンス完全映画化

クリント・イーストウッド ブラッド・ワーク



「許されざる者」でアカデミー賞を総なめにしたクリント・イーストウッド。監督デビューから30年目、

新作「ブラッド・ワーク」で、彼が自ら演じるのは「羊たちの沈黙」で一躍有名になった

FBIプロファイラー。原作は全米110万部のベストセラーで、

犯罪記者出身の推理小説家マイクル・コナリーの「わが心臓の痛み」だ。

脳死問題というタイムリーな話題もからめたこの傑作サスペンスは、

ロサンゼルス・タイムズの最優秀小説賞など三つの賞を獲得した。

それを脚色するのは、「LAコンフィデンシャル」で実力を見せつけたブライアン・ヘルゲランド。

これが撮影監督デビューとなるトム・スターン他、イーストウッドの信頼篤い熟練スタッフたちが、

違いの分かる大人のテイストに溢れたストーリーを紡ぎ出す。

謎が新たな謎に引き込まれて行く展開、大都市ロサンゼルスのカオスを裏も表も魅せ切った

リアルな映像美、「これぞ本物のエンタテインメント映画！」という作品が誕生した。

●クリント・イーストウッド 監督デビュー30周年記念作品

イーストウッドが帰ってきた!

Rex Reed / New York Observer

歳をとってもイーストウッドは最高にイキな役者のままで
A.O. Scott / The New York Times

「ブラッド・ワーク」は彼のベストだ。

「恐怖のメロディ」での監督デビュー以来の、歯切れの良い、

引き締まったその演出が今回も冴え渡る

Michael Wilmington / Chicago Tribune

テリー・マッケイレブはイーストウッドが演じた

最も強烈な役のひとつだろう

Roger Ebert / Chicago Sun Times

12月7日(土) ロードショー!!